

NOKYO SHIKA



JA志賀



## 第59回通常総代会の 開催結果について

通常総代会特集号





## ご挨拶

代表理事組合長 新谷 克己

組合員の皆様には、平素よりJA事業に対し格別のご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、本年1月1日発災の能登半島地震により被災された皆様に対し、心からお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

こうした中、去る6月26日に第59回通常総代会が開催され、総代ならびに組合員の皆様のご協力により、無事終了することができました。改めて深甚なる敬意と感謝の意を表します。

発災から早や半年が経過しましたが、当JAとして1月2日には志賀・富来の両給油所を臨時オープンし利用者ニーズにお応えするとともに、町行政からの連携支援要請に応じ各避難所への灯油

配送、ブルーシートやパックご飯の提供、フォークリフトの貸与等様々な支援策を講じてまいりました。また、JA職員も自らが被災者であり日常生活に不便を困いながらも、1月4日の仕事始めには誰一人欠けることなく業務継続を実現することができましたことは、役員の立場からも感謝の念に堪えません。とりわけ、共済契約者の建物被害については、全国のJAグループから広域査定員や鑑定人の応援をいただき、早期の損害調査と共済金支払いを最優先に取組んだ結果、これまでに当JA管内で100億円近い支払い実績となりました。さらに、2月以降、JA本店内に国・県・町との連携による「農業者支援相談窓口」を開設し、営農継続に向けた各種相談対応に取組みました。

一方、JAの大多数の施設においても、事務所、倉庫、共同乾燥施設等大なり小なりの損壊が随所に見られ、令和5年度決算は経常利益ベースで計画値ならびに前年実績を上回ったものの、今後の震災復旧にかかる修繕・取壊し費用等を引当金として見積もった結果、当期損失となりました。組合員の皆様にはご心配をおかけしますが、当該費用につきましては令和6年度以降に各種支援事業や補助金制度をフル活用し費用の圧縮を図りつつ、健全経営に回帰する所存でありますので、変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

農業・農協を取り巻く諸情勢は相変わらず厳しいものがあります。米の小売価格については需給改善と最近のインバウンド需要の高まりから値上がりしつつあり、

令和6年産の生産者米価への反映が期待される所です。また、先の通常国会において「農政の憲法」とも言われる『食料・農業・農村基本法』が25年ぶりに改正され、食料安全保障の基本理念等が明記されました。今後、改正法に基づく基本計画や関連法案が順次策定されることとなりますが、全国JAグループとしてコストを反映した「適正な農産物価格の形成」をはじめ、引き続き国に対し持続可能な国内農業の発展に向けた要請活動を展開してまいります。

終わりに、今夏もラニーニャ現象による猛暑が予想される中、震災からの復旧という長期にわたる試練が伴いますが、JAとしてもできる限りの支援を講じてまいりますので、組合員・利用者の皆様にはくれぐれもお体ご自愛のうえ、一層ご健勝に過ごされますようお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和6年7月吉日

農業と地域に根ざし、  
地域社会と共存するJAをめざして



新谷組合長

第59回

# 通常総代会開催



稲岡志賀町長

JA志賀の第59回通常総代会は、6月26日（水）午前10時より志賀町文化ホールで開催しました。

実総代数506名のうち、462名（本人出席119名、議決権行使343名）の出席により総代会が成立し、新谷組合長の開会挨拶、稲岡志賀町長のご祝辞の後、議長に木下和彦総代（西浦地区）を選任し、議案の審議に入りました。慎重なる審議の結果、上程された全議案が原案通り可決・承認されました。



議長 木下総代

## 第59回 通常総代会提出議案

### 【審議事項】

- 第1号議案 令和5年度事業報告及び損失処理案承認の件
- 第2号議案 令和6年度事業計画の設定の件
- 第3号議案 定款および定款附属書総代選挙規程の一部変更の件
- 第4号議案 理事及び監事の報酬の件

### 【報告事項】

- ①令和5年度貸借対照表、損益計算書、注記表、附属明細書並びに独立監査人及び監事の監査報告について
- ②「株式会社JAアグリサポートしか」令和5年度事業報告及び令和6年度事業方針について
- ③「JAバンク基本方針」の変更について

## 役員のご紹介

### 【理事 16名】

代表理事組合長 新谷 克己（常勤）

常務理事 岡塚 忠浩（常勤）

常務理事 谷内 雅人（常勤）

理事 吉野 成明（非常勤）

理事 高井 政義（非常勤）

理事 大石 守（非常勤）

理事 谷山 秀信（非常勤）

理事 幸地 厚子（非常勤）

理事 笹谷 秋美（非常勤）

理事 古川 勇二（非常勤）

理事 田頭 善彦（非常勤）

理事 細川 一元（非常勤）

理事 大矢 秀造（非常勤）

理事 畑中 正夫（非常勤）

理事 岡 清之（非常勤）

理事 裏 貴大（非常勤）

### 【監事 4名】

代表監事 藤田 修一（常勤）

監事 小橋 敦郎（非常勤）

監事 須間伸一郎（非常勤）

員外監事 高山 孝（非常勤）

## 令和5年度 事業報告

令和5年4月1日から  
令和6年3月31日まで

長らく国民生活を苦しめたコロナ感染症が令和5年5月に5類移行となり、徐々にヒト・モノの動きが活発化し国内経済も回復に向け動き始めました。一方で、歴史的猛暑による熱中症や夏場のインフルエンザ流行など健康面に留意すべき状況が続く中、ロシア・ウクライナ戦争の長期化と為替円安の進行が国内物価上昇に拍車をかけました。

こうした中、農業面では各種資材価格の高止まりと猛暑や線状降水帯等の気候変動により米の主力産地における減収・落等が目立つ中、当JA管内は大きな被害もなく1等米比率も高い水準を維持することができ、需給改善効果から生産者米価は2年連続で上昇しました。園芸品目においてはスイカが2年続きの高単価で推移、こも柿は炭疽病により3割減産となったものの良好な販売環境で推移しました。

JA事業としては、厳しい経営環境ながら中期3か年計画に沿った取組みを進め、年末まで比較的順調に推移したものの、令和6年能登半島地震を受け第4四半期(1~3月期)は一転震災対応に追われることとなり、町行政との連携支援や共済契約者の損害調査を最優先するとともにJA自身の被害状況把握と業務継続に努めた結果、営農座談会をはじめ予定していた各種会合やイベントを中止せざるを得なくなりました。損益につきましては、組合員・利用者の皆様のおかげによりまして、経常利益64百万円となりましたが、震災による施設等の解体・修繕に要する予定経費を引当金として特別損失に計上した結果、税引前当期損失が543百万円という結果となりました。

ここに第59年度における主要事業の概要についてご報告致します。

## 信用事業

「農業・くらし・地域」を基盤とする各領域において、特別利率設定による当JA独自企画の「退職金定期貯金」や「夏・冬の貯金キャンペーン」の取組みをはじめ、「年金相談会」等を開催し、組合員・利用者目線の取組み展開による、顧客基盤の維持・拡大に努めました。

貸出においては、統一ローンにより組合員・利用者の生活資金ニーズに対する取組みを展開し、農業関連資金では保証料助成などにより地域農業の発展・継続に寄与すべく資金供給に努めました。また、能登半島地震の対応として、償還猶予等の条件変更に対応致しました。

## 共済事業

組合員・利用者一人一人に寄添った安心と満足の提供を実現するため、最適な保障提案ができるよう利用者満足度向上と、ライフアドバイザー

ザー(渉外課)、スマイルサポーター(窓口共済担当者)体制を基本とした繋がり強化に向け取組みました。

また、令和6年1月1日に発生した能登半島地震に対して、加入者への迅速な査定や支払いに努めました(3月末現在支払額:51億6千4百万円)。

## 購買事業

前年度からの肥料等生産資材価格の高騰に対応するため、早期予約の推奨や大口農家への直送対応により価格上昇幅抑制を図るとともに、春肥に対する国・県による対策事業にかかる申請手続の支援をはじめ、JA志賀独自対策として「農業経営継続支援奨励金」を支出しました。

農機・自燃部門では、より良いサービス提供と技術力向上に努める中、農業者向けの燃料高騰対策や、地震発生後の奥能登車両の車検代行を実施しました。

営農指導・販売事業

本年度は6月下旬～9月上旬にかけて、過去にない異常高温気象となり農作物に影響を及ぼす年となりました。

基幹作物の米では、「うまい・きれいな石川米づくり＋1運動」を基本に高品質・安定生産に取組んだ結果、コシヒカリで乳白粒が多く見られましたが1等米比率で94・7%（前年対比2.5P減）となりました。米の販売実績は、米価の回復から飼料用米の作付けが減少したことで54・712・5俵（計画対比101・6%、前年対比102・3%）と増加し、販売高も651百万円（計画対比119・8%、前年対比110・1%）となりました。（なお、コシヒカリに占めるエコ技術による志賀米・能登米コシヒカリの販売比率は75・8%（前年対比0.1P増）となりました。）

志賀米を中心とした直売では、経済環境の回復や契約先が1社増えたことから、契約数量19,846俵（前年対比5,886俵増）となりました。

した。

園芸では、「能登すいか」が販売環境に恵まれ高単価で推移し、過去最高の平均単価となったことや、産地再生に取組むかぼちゃの労力軽減に向けた「無選別コンテナ出荷」の出荷量は大幅に増加（前年対比315・1%）しましたが、「白ねぎ、長なす」が高温気象の影響を受け出荷量が半減、「能登志賀ころ柿」は9月中旬から続いた降雨で炭そ病が助長され、出荷量が減少（前年対比73・3%）となった結果、販売高は175百万円（計画対比82・8%、前年対比85・8%）となりました。

利用事業

水稻育苗施設では、個人農家の離農や大規模農家による高密度苗栽培・直播栽培の増加により利用実績117,934箱（前年対比95・9%）となりました。

共同乾燥調製施設では、フレコン購入助成の継続実施など利用率向上に努めた結果、施設利用量は主食用

令和5年度の主な事業実績

（単位：千円・千ポイント）

項目	計画額	実績額	対比
貯金（平均残高）	47,000,000	47,280,405	100.6%
貸出金（平均残高）	6,200,000	5,623,840	90.7%
購入品	1,598,000	1,531,578	95.8%
販売品	1,234,400	1,341,080	108.6%
長期共済（ポイント）	1,636	1,063	65.0%
年金共済（ポイント）	64	64	100.0%

米1,311t（21,852・5俵）、飼料用米310t（5,166俵）の実績となりました。

スマート農業への取組みとして、本年度より2地区にて水稻ドローン散布防除を本格実施しました。

永年勤続

職員表彰

J A表彰

【永年勤続20年】

山崎 裕子  
（金融共済部 金融課）

坂 文江  
（営農部 志賀営農センター）

干場 政伸  
（営農部 営農課）

石川県農協中央会表彰

【永年勤続30年】

村山 綾子  
（中央支店）



## 令和5年度 貸借対照表 (令和6年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 信用事業資産	51,931,315,180
(1) 現 金	143,193,862
(2) 預 金	35,963,957,264
系統預金	34,352,654,000
系統外預金	1,611,303,264
(3) 有価証券	10,584,484,400
国 債	7,050,940,000
地方債	1,751,604,400
社 債	1,236,400,000
受益証券	545,540,000
(4) 貸出金	5,236,664,171
(5) その他の信用事業資産	62,187,190
未収収益	41,618,147
その他の資産	20,569,043
(6) 貸倒引当金	▲ 59,171,707
2. 共済事業資産	693,024
(1) その他の共済事業資産	693,024
3. 経済事業資産	569,713,988
(1) 受取手形	1,242,615
(2) 経済事業未収金	440,505,358
(3) 経済受託債権	48,202,548
(4) 棚卸資産	82,331,360
購買品	50,548,692
その他の棚卸資産	31,782,668
(5) その他の経済事業資産	23,643,699
(6) 貸倒引当金	▲ 26,211,592
4. 雑資産	100,605,125
5. 固定資産	924,863,301
(1) 有形固定資産	924,841,465
建 物	2,340,124,471
機械装置	727,954,820
土 地	110,177,854
その他の有形固定資産	419,951,990
減価償却累計額	▲ 2,673,367,670
(2) 無形固定資産	21,836
その他の無形固定資産	21,836
6. 外部出資	2,165,070,695
(1) 外部出資	2,165,070,695
系統出資	2,054,772,000
系統外出資	85,690,001
子会社等出資	24,608,694
資産の部合計	55,692,261,313

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 信用事業負債	51,281,034,782
(1) 貯 金	51,208,777,311
(2) その他の信用事業負債	72,257,471
未払費用	4,549,319
その他の負債	67,708,152
2. 共済事業負債	199,253,377
(1) 共済資金	108,496,192
(2) 未経過共済付加収入	85,733,522
(3) 共済未払費用	3,720,293
(4) その他の共済事業負債	1,303,370
3. 経済事業負債	196,262,286
(1) 経済事業未払金	140,421,924
(2) 経済受託債務	50,450,008
(3) その他の経済事業負債	5,390,354
4. 雑負債	124,833,939
(1) 未払法人税等	536,500
(2) 資産除去債務	14,500,000
(3) その他の負債	109,797,439
5. 諸引当金	869,243,156
(1) 賞与引当金	10,046,735
(2) 退職給付引当金	202,218,020
(3) 役員退職慰労引当金	19,159,455
(4) ポイント引当金	218,946
(5) 災害損失引当金	637,600,000
6. 繰延税金負債	5,059,014
負債の部合計	52,675,686,554
(純資産の部)	
1. 組合員資本	3,386,074,553
(1) 出資金	855,949,000
(2) 利益剰余金	2,534,893,553
利益準備金	1,097,949,698
その他利益剰余金	1,436,943,855
リスク管理積立金	732,892,494
農業経営基盤積立金	145,000,000
施設整備積立金	324,000,000
特別積立金	500,913,815
当期末処理損失金	265,862,454
(うち当期損失金)	633,189,068
(3) 処分未済持分	▲ 4,768,000
2. 評価・換算差額等	▲ 369,499,794
(1) その他有価証券評価差額金	▲ 369,499,794
純資産の部合計	3,016,574,759
負債及び純資産の部合計	55,692,261,313

## 単体自己資本比率 20.04%

## 組合員数

資格区分	期 首	当期増加	当期減少	期 末	増 減
正 組 合 員	3,388	31	109	3,310	▲ 78
准 組 合 員	1,883	25	39	1,869	▲ 14
計	5,271	56	148	5,179	▲ 92

## 出資口数

(単位:口)

資格区分	期 首	期 末	増 減
正 組 合 員	742,861	732,426	▲ 10,435
准 組 合 員	115,032	118,755	3,723
処分未済持分	10,742	4,768	▲ 5,974
計	868,635	855,949	▲ 12,686

出資1口金額 1,000円

払込済出資総額 855,949,000円

令和5年度 損益計算書 (令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1. 事業総利益	836,582,529	保管事業総利益	3,583,075
事業収益	2,193,873,009	(11) 加工事業収益	1,944,629
事業費用	1,357,290,480	(12) 加工事業費用	318,413
(1) 信用事業収益	327,144,387	加工事業総利益	1,626,216
資金運用収益	306,044,351	(13) 利用事業収益	164,486,708
(うち預金利息)	(131,215,508)	(14) 利用事業費用	115,723,053
(うち有価証券利息)	(103,766,871)	〔うち貸倒引当金戻入益〕	(▲ 26,800)
(うち貸出金利息)	(51,534,116)	利用事業総利益	48,763,655
(うちその他受入利息)	(19,527,856)	(15) 葬祭事業利益	9,209,100
役務取引等収益	10,082,965	(16) 葬祭事業費用	3,755,321
その他経常収益	11,017,071	葬祭事業総利益	5,453,779
(2) 信用事業費用	39,601,056	(17) 福祉事業収益	17,465,975
資金調達費用	3,078,687	(18) 福祉事業費用	19,538,620
(うち貯金利息)	(2,721,038)	福祉事業総損失	2,072,645
(うち給付補填備金繰入)	(83,639)	(19) 指導事業収入	820,078
(うちその他支払利息)	(274,010)	(20) 指導事業支出	6,676,894
役務取引等費用	4,327,616	指導事業収支差額	▲ 5,856,816
その他経常費用	32,194,753	2. 事業管理費	813,168,902
(うち貸倒引当金繰入額)	(10,948,437)	(1) 人件費	585,137,326
信用事業総利益	287,543,331	(2) 業務費	68,763,513
(3) 共済事業収益	251,439,518	(3) 諸税負担金	19,317,712
共済付加収入	239,702,889	(4) 施設費	138,656,383
その他の収益	11,736,629	(5) その他事業管理費	1,293,968
(4) 共済事業費用	19,702,971	事業利益	23,413,627
共済推進費	6,436,035	3. 事業外収益	40,685,115
その他の費用	13,266,936	(1) 受取雑利息	818,823
共済事業総利益	231,736,547	(2) 受取出資配当金	36,158,000
(5) 購買事業収益	1,346,865,758	(3) 賃貸料	1,339,532
購買品供給高	1,267,033,815	(4) 雑収入	2,368,760
購買手数料	7,883,385	4. 事業外費用	92,276
修理サービス料	43,814,981	(1) 寄付金	92,000
その他の収益	28,133,577	(2) 雑損失	276
(6) 購買事業費用	1,135,165,487	経常利益	64,006,466
購買品供給原価	1,058,013,703	5. 特別利益	103,382,000
購買供給費	21,759,988	(1) 災害関連利益	70,580,000
その他の費用	55,391,796	(2) 一般補助金	32,802,000
(うち貸倒引当金繰入額)	(10,531,289)	6. 特別損失	710,847,029
購買事業総利益	211,700,271	(1) 固定資産処分損	3
(7) 販売事業収益	67,676,377	(2) 固定資産圧縮損	32,802,000
販売品販売高	2,526,293	(3) 減損損失	10,338,821
販売手数料	52,855,566	(4) 災害関連損失	667,706,205
その他の収益	12,294,518	税引前当期損失	543,458,563
(8) 販売事業費用	13,571,261	法人税、住民税及び事業税	536,500
販売品販売原価	1,813,523	法人税等調整額	89,194,005
販売費	6,897,323	法人税等合計	89,730,505
その他の費用	4,860,415	当期損失金	633,189,068
販売事業総利益	54,105,116	当期首繰越剰余金	283,191,623
(9) 保管事業収益	17,596,389	税効果積立金取崩額	84,134,991
(10) 保管事業費用	14,013,314	当期未処理損失金	265,862,454

損失処理案

(単位：円)

科 目	金 額
1. 当期未処理損失金	265,862,454
2. 損失金処理額	0
3. 次期繰越損失金	265,862,454

※組合員届出事項に関する変更及び資格変動に関する手続きについて※  
組合員届出事項(住所・相続等)や組合員資格要件(就農・離農等)に変動が生じた場合は、定款の定めるところにより書面にて届出いただくこととなっております。組合員の皆様におかれましてはこれら届出事項の変動が生じたときは、お手数ですが最寄りの本支店にてお手続いただきますようお願い申し上げます。

※令和5年度決算については地震災害関連の影響があり当期損失となりました。制度上、当期未処理損失の場合、配当制限にかかり決算配当ができませんのでご了承ください。

## 令和6年度 事業計画

令和6年4月1日から  
令和7年3月31日まで

## 基本方針

## ◆ 経営基本方針 ◆

令和6年度は、能登半島地震からの復旧・復興を第一義とし、組合員ならびに地域住民のくらしとなりわい支援に取り組むとともに、持続可能な地域農業の実現を目指します。

また、「第6次中期3か年計画」の最終年度であり、厳しい経営環境ではあるものの不断の自己改革実践により当初基本目標達成に向け最大限の取り組みを進めてまいります。

## ◆ 基本目標 ◆

- ◆ 農業所得の増大と農業生産の拡大
- ◆ 組織基盤の確立と地域の活性化
- ◆ 経営基盤の強化

## ◆ 重点実施事項 ◆

- (1) 組合員のメンバーシップ強化による組織基盤強化
- (2) 経営基盤の確立・強化
- (3) 地域の活性化への貢献

## 主要事業目標

(単位：千円・千ポイント)

項目	計画額
貯金(平均残高)	51,800,000
貸出金(平均残高)	5,200,000
長期共済新契約高	1,350
短期共済新契約高	1,700
購買事業取扱高	1,609,000
販売事業取扱高	1,290,000

## 損益計画

(単位：千円)

項目	計画額
事業総利益	845,340
事業管理費	833,930
事業利益	11,410
経常利益	53,500
税引前当期利益	53,500
当期剰余金	50,350

## 施設整備計画

(単位：千円)

施設名	資産種類	内容	事業費
西山選果場	機械装置	スイカ選果機一式	92,800
志賀農機センター	車両運搬具	積載車(大型：新古車)	12,670
富来ライスセンター	建物 機械装置ほか	施設建屋(建替え) プラント設備一式	1,081,800

※富来ライスセンターについては令和7年度に取得予定

# 各事業計画 重点実施事項

## 信用事業

- (1) 能登半島地震からの復旧・復興への取組み  
低利資金の供給および既往貸付金の償還猶予など相談機能発揮による組合員・利用者の生活再建支援に努めます。
- (2) 農業融資実施体制の構築・強化  
営農・経済部門との事業間連携による資金ニーズの掘出しをはじめ、農業近代化資金や農業バックアップ資金等への利子補給・保証料助成の継続実施により、農業融資の対応強化に努めます。
- (3) 生活資金ニーズへの対応強化  
住宅・マイカーローンなど、金利軽減項目を活用した契約時のメイン化徹底をはじめ、ネットローン等を活用した効率的な推進と新規利用拡大に努めます。
- (4) ライフイベントに応じた提案活動の実施  
来店機会を活用したネットバンク・J Aカードのセット推進等付帯取引（メイン化取引）の拡充をはじめ、キャッシュレス決済のJ A口座利用促進に努めます。
- (5) 不祥事未然防止・内部管理体制の構築  
不祥事未然防止への取組み強化。  
アンチ・マネー・ロンダリング対応

## 共済事業

については新たな管理システムの導入による体制整備を図ります。

- (1) 新たな生活様式への対応の加速  
・「対面」「非対面」を融合した契約者・組合員へのフォロー活動の実践  
・ひと保障を中心とする「ひと、いえ、くるま」のバランスの取れた総合保障の提供と農業分野の取組み強化  
・地域貢献活動を通じた農業・地域への貢献と、組合員をはじめとする地域住民との繋がりの強化
- (2) 長期安定的な事業展開  
・ライフアドバイザーやスマイルサポーターの体制整備と機能強化  
・最良の保障提供と利用者満足に向けた提案活動の対応力強化および質の向上  
・利用者満足を意識した提案活動の充実・浸透
- (3) J A共済契約者が長期に安心できる基盤・スキームづくり  
・コンプライアンス態勢の強化  
・共済事業向けの総合的な監督指針の改正への対応  
・新たな健全性規制を見据えた総合リスク管理の強化

## 購買事業

- (1) 購買事業体制の強化

- (2) 仕入機能の強化

- (3) 農業者のコスト低減支援  
(4) 運営力・運営体制の強化

- (5) 総合展示会・農業まつり・部門別展示会・農作業安全講習会の実施

## 資材センター

- ・大口利用者へのコスト低減資材の提案（大口直送）及び大口割引の継続
- ・仕入時期の工夫による予約購買の推奨
- ・営農部との連携による肥料・農薬等の研修会実施
- ・資材倉庫の見直しに伴う全農戸配送業務の再検討

## 農機センター

- ・農作業の省力化・効率化対応に繋がる農機の活用提案強化・導入促進の取組み
- ・低価格モデル農機推奨と農業者向け実演試乗会の実施
- ・農機の大形化・高性能化に対応した技術・知識向上に向けた研修会等への参加
- ・大型機械対応積載車の導入と利活用

## 自動車整備工場

- ・低価格営農車両（軽四トラック等）の提供
- ・中古自動車販売拡大の取組み
- ・顧客満足度向上に向けた整備修理技術の習得

## 給油所

- ・集落営農組織・大規模農家への営農用燃料助成の実施
- ・特売日やイベント・キャンペーンの実施
- ・定休日の定着による適正な人員配置

## 指導事業・販売事業

- (1) 行政・地域担い手と連携して、農地の保全と次世代農業者の確保に取組み、管内農業生産基盤の安定・強化に努めます。
- (2) 「志賀米」・「能登米」コシヒカリを中心に米卸先と価格交渉を行い、農家所得向上に努めます。
- (3) かぼちゃ出荷労力の軽減を目的とした「無選別コンテナ出荷」を推進し、生産拡大に取組みます。
- (4) 国消産運動の積極的展開と情報発信に努めます。

## 利用事業

- (1) 育苗センター  
・1箱当たり種籽播種量を増量して、10 a 当り約2箱の使用量削減を目指します。
- (2) 昨年引き続き管内の主要病害である紋枯病対策として、播種同時薬剤散布による育苗試験と圃場実証に取組みます。
- (3) 共同乾燥調製施設（カントリーエレベーター・ライスセンター）  
・地震で被災した増穂ライスセンターは今期使用できないため、増穂ライスセンターを中継点としたサテライト方式を基本にカントリーエレベーターへ搬入します。
- (4) 全施設対象のスタンドバックフレコン購入助成措置をはじめ、主食用米の大口割引設定を継続実施し、利用率向上に努めます。

## 積載車の新規取得

トラクターやコンバインなどの主要農業機械の大型化が進み、今後も需要増加が見込まれる状況となっています。

こうした中、当組合が所有する積載車は大型機械に対応しておらず、外部への運搬委託に頼らざるをえない状況にあり、農繁期における迅速な対応が課題となっていました。

このような状況を鑑み、今般大型機械に対応できる積載車を新規取得致しました。今後も組合員サービスの向上を目指し、さらにスムーズな対応が出来るよう努めてまいります。



お米の管理情報・緊急情報をいち早くお届け!



### 配信予定

- 能登にやさしい米づくり情報
- 廃プラ回収・実演会等行事案内
- 異常気象に伴う水稲栽培管理情報 等

### 【登録方法】

- ① QRコードを読み取り
- ② LINEアプリを起動
- ③ 「JA志賀」を友達に追加



※8月より配信開始予定

## JA 農機セールス コンテストで入賞

農機センター長の河野辰夫がJA農機セールスコンテストにおいて総合部門(台数)で優秀賞、総合部門(金額)で第3位となり全農石川県本部より表彰されました。

コンテストは県内JAの中で販売において優秀な実績をあげた者に表彰されるもので、河野センター長は3年連続の受賞となりました。引き続き農業者への適正な販売に努めてまいります。



(左) 新谷組合長 (右) 河野

## J A 志賀新採職員について

- **募集人数** 正職員 若干名
- **応募資格** 2025年3月に大学・短大・専門・高等学校を卒業見込みの者、及び既卒5年以内の者。
- **勤務条件** J A 志賀HP・マイナビに掲載
- **提出書類** 履歴書・卒業見込証明書・成績証明書
- **採用窓口** 〒925-0154 志賀町末吉新保向1番地 J A 志賀本店 総務課 TEL0767-32-1155

### 【職員人事異動のお知らせ】（5月）

#### 《部長職》

経済部 部長 兼 農機自燃課 課長	高井 清勝
営農部 次長（部長待遇）	田淵 秀治
中央支店 支店長（部長待遇）	上嶋 都夫

#### 《部次長職》

営農部 次長 兼 営農課長	荒木 勝
---------------	------

#### 《課長職》

富来支店 支店次長（課長待遇）	長田 憲和
-----------------	-------

## 初夏の展示会 2024

6月28日(金)、29日(土)の両日、本店構内において「夏の展示会」を開催しました。

震災の影響もあり例年より1か月程度遅い開催となりましたが、農業機械・自動車をメインに電化製品、Aコープ野菜、珍味等取りそろえ、さらに昼時間帯には焼きそばの無料炊き出しをお楽しみいただきました。また、「肥料・農薬相談コーナー」、「ローン相談コーナー」を設け、来場者のニーズに対応しました。

天候不順な梅雨時の開催ではありましたが、多くのご来場をいただきありがとうございました。



## 米作り体験農園で田植え

志賀地区では5月9日に志賀町福井の株営農福井圃場にて志賀小学校5年生98名、富来地区では5月17日に富来小学校5年生16名が田植の体験活動を行いました。9月には稲刈り体験も予定しています。

今後も組合員・学校と連携して、農業・食の関心・理解を深める活動を実施していきます。



志賀小



志賀小



富来小

# JAの建物更生共済

住まいを取り巻くさまざまな自然災害のリスク  
お考えになっていませんか？

## JAの「建物更生共済」の特徴

### 地震に強い

地震保障が自動的にセットされています

### 自然災害に強い

多発している風災・水災・雪災  
などももちろん保障！

### 火災は当然！

落雷や物体の衝突・車両の衝突  
など

### 満期共済金がある

掛け捨てではなく、満期共済金  
がありますので諸費用に充てられます

今回の地震においてもたくさんの共済金がお役に立ちました。

JA志賀ご契約者様の  
お支払い共済金

94.5 億円

石川県下の  
お支払い共済金

1,025 億円

【令和6年6月26日時点 JA共済連石川調べ】



お問い合わせは

JA志賀 各支店または

渉外課 (0767-32-1184)

※この資料は概要を説明したものです。

詳細につきましては、「重要事項説明書(契約概要・  
注意喚起情報)および「ご契約のしおり・約款」に  
より必ずご確認ください。

【24193710196】